

令和4年漁期のハタハタ資源管理と漁獲状況について

水産漁港課

1 今期の資源管理について

- ハタハタの資源管理は、令和3年漁期から、地区及び漁業種類ごとに操業日数制限を定める漁獲努力量管理で行っている。
- 10月25日に開催された第1回ハタハタ資源対策協議会において、今期（9月～来年6月）の操業日数制限は、右のとおり決定した。

【令和4年漁期の漁法別操業日数の上限】

- ・ 沖合：底びき網 22日 (全県統一)
- ・ 沿岸：刺し網 12日～15日 (地区ごとに設定)
- 定置網 12日～17日 (地区ごとに設定)

2 漁獲状況（12月6日現在）

- 沖合は、9月12日からの漁獲量は34.6 t（前年同期比183%）となっている。
- 沿岸は、12月6日に八森地区（3.1 t）と岩館地区（27kg）で初漁を迎えた。
（昨期は12月4日に八森地区で初漁）
- 漁獲物は、中型～大型魚（2歳～3歳魚）が多くなっている。

【参考】地域別漁獲量（12月6日現在）

（単位：t）

地 域		令和4年	令和3年	令和2年
沖合	県北部（八峰町）	14.0	8.0	17.0
	船 川（男鹿市）	12.4	2.4	41.1
	県南部（にかほ市）	8.2	8.4	74.2
	計	34.6	18.9	132.3
沿岸	県北部（三種町以北）	3.1	2.0	—
	男鹿北（男鹿市若美～戸賀）	—	0.3	—
	男鹿南（男鹿市船川港～潟上市）	—	—	—
	県南部（秋田市以南）	—	—	0.0
	計	3.1	2.4	0.0
合 計		37.7	21.2	132.3
最終 実績	沖合（全県）	—	199.2	252.2
	沿岸（全県）	—	105.2	191.1
	合 計	—	304.4	443.3

※ 水産振興センター調べ、小数点以下の端数処理により計が一致しない場合がある。

※ 漁獲量の「0.0」は、四捨五入により「0.0」となったもの。「—」は、漁獲無しを示す。